



近藤伸子 KONDO Nobuko

東京藝術大学大学院博士課程修了。シュトックハウゼンのピアノ曲に関する研究で博士号取得。ドイツ学術交流会奨学生としてベルリン芸術大学へ留学、最優秀で卒業。A・シュナーベルコンクール最高位、ブゾーニ国際コンクール入賞、文化放送音楽賞、文化庁芸術祭優秀賞他、受賞多数。ベルリン交響楽団、東京交響楽団他多数のオーケストラと共演。現代曲にも意欲的に取り組み「サントリー・サマーフェスティバル」「東京の夏音楽祭」他に出演。1993年以降、20世紀のピアノ曲 および J.S.バッハの作品によるリサイタルシリーズを交互に開催。リサイタルは度々「音楽の友」「ショパン」誌上の年間コンサートベストテンに選出されている。2017年より1年間、国立音楽大学長期国外研修員としてベルリンに滞在、ベートーヴェンのピアノ作品を中心に研究を行なう。現在ベートーヴェンピアノソナタ全曲演奏シリーズを継続中。国立音楽大学教授。www.kondonobuko.ne.jp



佐藤まどか SATO Madoka (Vn.)

東京藝術大学大学院博士後期課程修了。イギリス、オーストリア、フィンランドにて研鑽を積み、シベリウスの研究で博士号を取得。シベリウス国際ヴァイオリンコンクール第3位ほか受賞多数。ソリストとしての活動を中心として、室内楽や現代音楽など多様な演奏活動を展開し、的確な洞察力と豊かな表現力も国際的にも高い評価を受けている。上野学園短期大学准教授。contemporary aメンバー。日本シベリウス協会理事。



衛藤理子 ETO Riko (Va.)

東京藝術大学を卒業し、現在同大学大学院修士過程に在籍中。これまでに故川崎和憲、大野かおる、白木麻弥、市坪俊彦、大島亮の各氏に師事。小澤国際室内楽アカデミー奥志賀、アルゲリッチ音楽祭、イギリスIMS Prussia Cove、クロンベルクアカデミーマスタークラスなどで室内楽の経験を積む。ミュンヘンARDコンクールやブリムローズ国際ヴィオラコンクールの参加等、国外の活動にも取り組む。福島育英会23、24年度奨学生。



馬場武蔵 BABA Musashi (Cond.)

ベルリン音大、フランクフルト芸大卒。18/19年アンサンブルモデレンアカデミー生。ユンゲドイチェフィル、ベルリンドイツオペラ、ギリシャ国立歌劇場ほかでアシスタントを務め、ジョージ・ベンジャミン、ディーマ・スロボドニウク、アレホ・ペレス、ジョルト・ナジ、ルーカス・フィスほか多数に学ぶ。指揮したオーケストラにノイブランデンブルクフィル、プレーマーハーフェンフィル、アテネ国立管ほか。アンサンブルトーンシーク指揮者。



松平 敬 MATSUDAIRA Takashi (Br.)

東京芸術大学卒業、同大学院修了。現代音楽曲のスペシャリストとして、湯浅譲二、西村朗など150以上での新作を初演。サントリーホール・サマーフェスティバル、新国立劇場などに出演。ソロCDとして4枚のアルバムを、チューバの橋本晋哉氏とのユニット「低音デュオ」名義としても2枚のCDを発表。2019年には著書『シュトックハウゼンのすべて』を出版。平成22年度文化庁芸術祭優秀賞、第32回、第34回ミュージック・ペンクラブ音楽賞を受賞。



辻 愛結実 TSUJI Ayumi (Vn.)

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学を卒業。学内にて宮田亮平奨学金、安宅賞、アカンサス賞、同声会賞を受賞。モーニング・コンサートに出演、藝大フィルハーモニア管弦楽団と共演。現在、同大学大学院在学中。第5回全日本芸術コンクール全国大会金賞。第26回日本クラシック音楽コンクール全国大会第2位。第28回KOBE国際音楽コンクール弦楽器C部門優勝。現在玉井菜採、白井圭の各氏に師事。



河野文昭 KONO Fumiaki (Vc.)

京都市立芸術大学卒業。文化庁在外派遣研究員としてロスアンゼルスで、その後ウィーン国立音楽学校に留学。黒沼俊夫、G.ライター、A.ナヴァラの各氏に師事。1981年第50回日本音楽コンクール第1位。2017年京都市文化功労者。2024年3月に32年間勤めた東京藝術大学教授を退職。現在アンサンブル of トウキョウ、AOI・レジデンス・クワルテット、クインテット WAM等のメンバーとして、精力的に室内楽演奏を続けている。東京藝術大学名誉教授。